

2018・1

| PRESS RELEASE |

株式会社LIXIL

やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

藤ノ木土平展「黙&吟」

会場:2018年2月27日(火)~4月24日(火)

会場:LIXILギャラリー



「山芍薬残像」 2016 年 65×60×H20cm

| 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー

所在地:東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL: GINZA 2F

広報担当:大橋恵美 田村志保

TEL: 03-5250-6530 Email: xbn@lixil.com



<http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

LIXIL ギャラリーでは 2018 年 2 月 27 日 (火) ～4 月 24 日 (火) の期間、藤ノ木土平展「黙&吟」を開催します。

藤ノ木土平氏は現代唐津焼を追求する一人として、約 40 年にわたり毎年数多くの発表を国内外で行っています。作品は茶道具から日常のうつわ、オブジェまでと幅広く、いずれも唐津焼の特徴である自然と土の魅力を伝えます。

今展では「黙&吟」と題して、「おもちゃ匣」や「山芍薬残像」(表紙写真)のような植物をモチーフとした造形的な作品 10 点を展示します。タイトルの「黙&吟」は四字熟語の「黙思口吟」(もくしこうぎん) : 「黙って考え込んで小声で口ずさむ」から来ています。「黙」は「おもちゃ匣」(下記写真)に見られるような樹木の年輪に、「吟」は「山芍薬」の実のはじける様子から表されています。藤ノ木氏の泰然とした中にもユーモアの光る作品の数々をお楽しみください。



「兎唐津おもちゃ匣」 2013 年 32×25×H27cm

| 開催概要 | 藤ノ木土平展「黙&吟」

会 期 2018 年 2 月 27 日 (火) ～4 月 24 日 (火)
★アーティスト・トーク
日時 : 2018 年 2 月 27 日 (火) 18 : 00～18 : 30
休 館 日 水曜日
開館時間 10 : 00～18 : 00
企 画 株式会社 LIXIL
会 場 LIXIL ギャラリー
観 覧 料 無料
会場写真 <http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

| 展覧会の見どころ |



「二彩唐津おもちゃ匣」
2016年 28×28×H23cm

藤ノ木土平氏は 1949 年新潟県十日町に生まれ、当初は東京にて洋画家を志していましたが、博物館や美術館巡りをするうちに陶芸に興味を抱くようになります。25 歳の時に九州へ出かけて窯元を泊まり歩き、佐賀県で唐津焼に出会い魅了されました。3 年間唐津焼の窯元の大橋裕氏に学び、その後岐阜県の織部焼の窯元をへて、再び戻ってきてこの地に築窯して約 40 年になります。

藤ノ木氏は唐津焼のもつ土臭さ、人間臭さが自分の気持ちに合うと言います。唐津の自然から生まれた土の生命力は、大らかさ、自由さを作品にもたらし、てらいや気負いのない、愛にあふれ、やさしく、使い手を元気にしてくれる作品として高い人気を得ています。

毎日自作のお茶碗でお茶を点てる藤ノ木氏。展覧会のタイトルの「黙&吟」は四文字熟語の「黙思口吟」（もくしこうぎん）：「黙って考え込んで小声で口ずさむ」から来ています。「黙」は「おもちゃ匣」に見られる樹木の年輪に、「吟」は「山芍薬」の実のはじけた様子に表されています。

| 作者略歴 | 藤ノ木土平（FUJINOKI Dohei）

- 1949 新潟県十日町市に生まれる
- 1968 東京に上京、専門学校や民間の絵画研究所で油絵を学ぶ
- 1970 全国各地の窯業地をスケッチしてまわる
- 1976 唐津の大橋裕氏のもとで唐津焼を 3 年間学ぶ
- 1978 美濃の加藤芳右衛門氏のもとで織部焼を 2 年間学ぶ
- 1980 唐津市鎮西町に土平窯を開き独立する
- 1983 個展（西武百貨店／渋谷）以降 2 年おきに 3 回開催
- 1988 個展（黒田陶苑／銀座）以降 2 年おきに 14 回開催
- 1990 個展（ギャラリー81／姫路）以降 2 年おきに 13 回開催
- 1996 佐賀県陶芸協会会員となる
- 1998 個展（亀の井別荘「雪安居」／湯布院・大分）以降 2 年おきに 10 回開催
- 2006 個展（米近／名古屋）以降 3 回開催
- 2009 「古唐津に魅せられたもの達－九人の挑戦」展（佐賀県立九州陶磁文化館）
- 2010 「唐津焼のいま－12 人の陶芸家による技の競演 展」（柿傳ギャラリー／新宿）
- 2011 「陶のかたちⅧ」（ぎやらりい栗本／新潟）
「藤ノ木土平展－土平好み 茶籠 and 呼び継ぎ」（炎群／唐津）
- 2012 「唐津焼－12 人の作家による静の茶碗、動の茶碗」展（柿傳ギャラリー／新宿）
- 2013 個展（新潟・ぎやらりい栗本／新潟）
個展（器あそび本店／岩国、器あそび十日市店／広島）
- 2014 「唐津が大好き－14 人の作家による花入・茶碗・酒器展」（柿傳ギャラリー／新宿）
個展（お茶の美老園／鹿児島）
- 2016 「唐津焼十二人展 一茶懐石の器－」（柿傳ギャラリー／新宿）
個展（画廊イタリア軒／新潟）
- 2017 「陶 藤ノ木土平 × 彩 志水朝 二人展」（柿傳ギャラリー／新宿）
個展（アベノハルカス近鉄本店／大阪）



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。